

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	1-3-11 R1追加	取組項目名	SIBの手法を活用した介護予防「あ・し・た」プロジェクト事業					
所管	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援	課		
〔P〕 取組内容	実施内容	いつまでも元気に安心して自立した生活が維持できるよう、元気高齢者を対象に、あるく(身体活動)・しゃべる(社会参加)・たべる(食生活)のフレイル予防要素に基づく介護予防プログラムを実施することで、介護予防につながる行動変容を促進し、自身で介護予防に取り組むきっかけを作る。SIBの手法を活用することで、民間企業のアイデアや資源の活用により多様な事業展開が期待できるとともに、事業の評価検証で得られるデータを今後の介護予防事業に反映することができる。						
	目標	H30	-					
		R1	総事業参加人数 1,000人					
	R2	総事業参加人数 4,000人						
〔D〕 実績・進捗状況	H30	-						
		H30の達成度		〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成				
	R1	キックオフイベント参加者実人数:320名 事業説明イベント1回目参加者数:33名(男性参加者86%、これまで介護予防教室に参加したことのない方80%) 事業説明イベント2回目参加者数:35名(男性参加者60%、これまで介護予防教室に参加したことのない方92%) 3月より開始予定であった教室の参加申込数:49名(男性参加者96%)						
		R1の達成度	c	〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成				
		H30~R1の達成度	c	〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成				
	R2	継続プログラム数:8プログラム 参加者数:70名(男性参加者63%) 過去の介護予防・健康づくり系のプログラムへの参加経験:あり13名(19%)、なし(今回がはじめて)56名(81%)						
		R2の達成度	d	〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成				
		H30~R2の達成度	d	〔基準〕 a: 上回って(前倒しで)達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成				
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		見込み	- 百万円		- 百万円		- 百万円	
	実績	- 百万円		- 百万円		- 百万円		
評価	C	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良						
〔C〕 課題分析	新型コロナウイルスによる影響により、集客を見込んだ啓発イベントが開催できていない。また、半年間の継続参加プログラムを2度休止しており、令和2年度内に終了することができなかった。更に当初予定していたプログラムを開始できていない状況である。しかし、これまで介護予防事業へ無関心であった層(参加したことがない方や男性)の参加が多くみられ、事業目的は達成できている。							
	事業中断の影響を考慮し、事業実施期間を1年延長し、令和4年度までとした。さらに、継続プログラム休止期間中も、参加者のモチベーションを維持し、フレイル予防行動を促すため、動画配信等のWebツールを活用したプログラムを実施したり、各プログラム講師から参加者へのメッセージを伝える「通信」を発行した。							
〔A〕 改善策	オンラインも活用しながら数多くのプログラムを開催することで参加者人数を増やす。コロナ禍の外出自粛によりフレイル状態への進行が懸念される中、引き続き事業参加者のフレイル予防効果を検証する。							
備考	実績や成果の検証は、令和5年3月に実施予定であるため、令和2年度の実績は確定できない。							